



# 名古屋市裏金「帳簿・通帳」開示求めて提訴

名古屋市民オンブズマンは、名古屋市裏金通帳・帳簿について支払先個人名と、裏金作りに荷担した企業名が非公開になったのはおかしいと7月30日名古屋地裁に提訴した。

第1回弁論時に裁判所は「どこで非公開部分は何の理由によって非公開なのか明らかにするように」と市側代理人に伝えた。

## 名古屋市、違法裏金に法的保護を求める

上記に対して名古屋市側は11月25日裏金帳簿のサンプル8ページを提出し、非公開の理由は以下12項目に該当すると主張した。

### 【個人情報】

- ・香典等の相手方の情報
- ・臨時的任用職員等の賃金等に係る相手方の情報
- ・金融機関等の担当者の情報
- ・私的な金銭のやりとりの覚えに係る相手方の情報
- ・福祉サービスを受けたことがわかる相手方の情報
- ・飲食を伴う打ち合わせ等の相手方の情報
- ・死傷病者に係る情報
- ・寄付等を本市側にしたことが分かる相手方の情報
- ・支出入の状況が不明なもの相手方の情報
- ・その他

### 【法人情報】

- ・振込先金融機関名
- ・法人の名誉・社会的評価等が損なわれる情報

## そもそも裏金に法的保護など要らない

理由としては、「表金」の個人情報保護基準を適用したようだが、そもそも裏金で交際しないといけないような相手の氏名が保護されることがおかしい。

名古屋市民オンブズマンは次回までに、まずサンプルに関して具体的に反論する予定。また、裏金帳簿等全て(約720ページ)に関してさらに詳細に非公開にした理由を求めるかを検討する。次回は10年1月18日(月)10時35分から名古屋地裁民事9部で。

# 本丸御殿

# 国・県に「補助金出すな」と凍結を再度申し入れ

名古屋市民オンブズマンは、総額150億円にも及ぶ名古屋城本丸御殿復元事業「凍結」を求め9月1日河村たかし名古屋市長に申し入れを行った。

また10月2日本事業に補助金を出している国土交通省、行政改革大臣、愛知県に対し、補助金支出をやめるよう申し入れを郵送した。

今回は以下の3点を踏まえての申し入れである。

1. 名古屋市の来年度予算は、不況・10%減税で500億円減収の見込み。命と生活に直結する大きなプロジェクトは次々と白紙撤回、凍結と発表した。観光展示物の本丸御殿だけ見直

2. 国の政権交代があり、来年度概算要求は白紙で見直すと言っている。名古屋市も「不要・不急」な本事業を白紙で見直せ。
3. 本丸御殿では「市民の声」を偽装する手法を用いたが、次々と同様の手法を行っているのは許せない。

# オンブズマン&タイアップ総会報告

7月23日午後6時、名古屋市内の居酒屋で名古屋市民オンブズマンと同タイアップグループの合同総会が行われた。

その席で右の収支報告が承認され、その後懇親会も行われた。会員が年々高齢化によって脱退する人も多くなっている。会員各位には、年会費振り込みと新会員の勧誘を是非お願いしたい。

## タイアップグループ年間収支報告書

08/7/1-09/6/30 単位:円

【運営収入の部】	
会費	51人 306,000
寄付金	131,167
受取利息	953
運営収入の部合計	444,120

\*立替金  
瀬戸談合記録コピー代 58,978円

【運営費用の部】	
事務消耗品	66,347
調査費	102,955
ニュース発行費	62,974
ネット広報費	75,783
情報公開請求費	147,510
新聞代	47,830
のぼり代	76,070
運営費用の部合計	579,469
当期運営収支差額	▲135,349
期首純資産	1,315,776
期末純資産	1,180,427

# 県内情報公開度ランキング

## 1位小牧市・稲沢市 尾張旭市は失格

### 7年ぶりのランキング

愛知県市民オンブズ連絡会議は愛知県内の全35市と愛知県を対象として、7年ぶりのランキング調査をした。情報公開請求を2008年の秋に、さらに各自治体に2008年12月1日の時点における開示基準や制度運用についてのアンケート調査を行い、それらの結果をもとに公開度を調査した。

今回の対象は首長と教育長の交際費情報、A4コピー紙の予定価格情報それぞれの開示度を調査し、さらに制度運用にかかるものとして、条例で請求者に限定が加えられているか否かを評価した。

### 尾張旭市は閲覧手数料徴収

ランキング1位は小牧市と稲沢市、最下位の35位は豊田市で、

失格は閲覧手数料を徴収する尾張旭市となった。

豊田市や知立市、大府市の例などに見られるように、この7年間で交際費の情報公開度を低下させた自治体が見られる点が今回の大きな特徴。コピー代は調査対象全自治体で10円となった。

<http://nagoya.ombudsman.jp/data/08kennaidata.pdf>

# 2008年度全国情報公開度ランキング 国内39都道府県729自治体を調査

全国市民オンブズマン連絡会議は、8月12日全国全市を対象とした情報公開度ランキングを発表した。

全国の市民オンブズマンの協力で、全国779市・47都道府県・東京23区の合計849自治体のうち、39都道府県の729自治体か

らアンケートが回収できた(回答率85.8%)。

調査の結果昨年までの都道府県政令市に比べて、全市では相対的に情報公開度が低いことが明らかになった。やはり他との比較は、今の自治体に必要と思われる。現状を改善す

るために自治体情報の相互の交換が有効と思われる。

私たち連絡会議は今後も比較の手法を用いて、制度の改善を提案していきたいと思う。ランキング詳細は下記で。

<http://www.ombudsman.jp/rank/>

# 「道路特定財源」のツケ 借金返済が莫大に 愛知県は年間1280億円の支出超過

全国市民オンブズマン連絡会議は、09/8/12に「道路特定財源」に関する調査結果を発表した。悪化する地方財政、特に2009年3月末で一般財源化された道路特定財源に焦点を当て、調査した。(データがそろわなかった北海道、滋賀県、岡山県、大分県、

福岡県を除く42都道府県+18政令市+3任意市)

どうしても支払わないといけない、義務的経費(道路借入金+維持補修費用)を自治体の財源(旧自治体道路特定財源+一般財源)だけでまかなえる自治体は、平成21年度では16県11市

(名古屋市を含む)で、愛知県は全国最悪で1280億円も債務超過(義務的経費の方が多)だった。

これら調査から、少なくとも新規道路建設を行う余裕はないと言える。詳細はウェブで。<http://www.ombudsman.jp/taikai/>

# 包括外部監査の通信簿 豊田市がオンブズマン大賞

平成11年度から都道府県・政令市・中核市で義務付けられている「包括外部監査」を市民の目でチェックしようと、全国市民オンブズマン連絡会議が平成12年から毎年行っている「包括外部監査の通信簿」の平成20年度版が完成した。

優秀賞は6自治体6テーマで、豊田市包括外部監査人の伊藤倫

文弁護士による「工事・委託を中心とした契約手続及び契約締結後の契約変更について」がオンブズマン大賞に選ばれた。

また、今年から包括外部監査に関する「自治体の措置評価」も作った。平成18年度包括外部監査に対する自治体の措置の評価総合評価Aの中で、山口県、横浜市、豊田市、八尾市については

地方自治体措置対応の「模範賞」を贈呈した。

今年の「通信簿」は全270ページ。各自治体報告書と過去措置をDVDに収録して6000円で販売中。